

SUNSTAR

SA7500

建築物の長寿命化に貢献

建築用シーリング材

ペンギンシール

SA7500

カーテンウォール・ガラス回り・タイル・コンクリート・
金属パネル目地、2成分形シリコン系シーリング材の改修

2成分形シリル化アクリレート

JSIA F☆☆☆☆



シリル化アクリレートポリマーの採用により
高耐候・高耐久を実現した
ハイパフォーマンス仕様のシーリング材



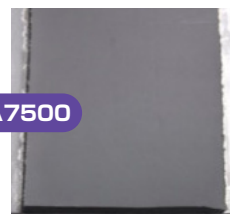
|| 建築物の長寿命化を実現する優れた耐候性

シリル化アクリレートポリマーの採用により、促進試験において実年数換算 20 年相当の耐候性を有しています(サンシャインウエザーメーター (JISA 1415 に規定する WS-A 法) 300hr=1 年相当 換算)。

2 成分形変成シリコン系 (汎用タイプ)



SA7500



|| 大型建築物に対応する優れた耐久性

JIS A 5758 G・F-25LM-10030 (SA-2) に適合 (JIS マーク表示認証製品)。

|| 改修工事に最適

2 成分形シリコン系シーリング材の改修工事が可能です。

※事前に接着性の確認が必要です。1 成分形シリコン系シーリング材への打継ぎは避けてください。

|| 目地周辺が美しい。

シリコン系シーリング材にみられるような目地周辺への汚染 (撥水汚染) がありません。建物の景観を長期にわたって美しく保ちます。

|| 多様な目地へ対応

カーテンウォール・ガラス回りだけでなく、金属パネル目地の耐久、耐候性も向上します。

|| 室内空気汚染に係わるガイドライン — 室内濃度に関する指針値 —

「シックハウス 13 揮発性有機化合物 (VOC)」を使用していません。

|| 日本シーリング材工業会 (JSIA) の「ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定」に適合。F☆☆☆☆登録製品 (認定番号 JSIA-004085) です。

性状

項目	基剤	硬化剤	共有トナー
外観	乳白色ペースト状	乳白色ペースト状	各色ペースト状
混合比(質量比)	100/8.5/4.3		
密度(20℃)	1.30		
有効期間	6ヶ月(25℃以下貯蔵)		

性能

JIS A 5758 : 2022

項目		結果		
JIS A 5758 : 2022 による区分		G・F・25 LM -10030(SA-2)		
スランプ (mm)	縦	50℃	0	
		5℃	0	
	横	50℃	0	
		5℃	0	
弾性復元性 (%)		95		
引張特性	引張応力 (N/mm ²)	アルミニウム板	23℃	0.3
			-20℃	0.5
		モルタル板	23℃	0.3
		-20℃	0.6	
		ガラス板	23℃	0.3
			-20℃	0.6
定伸長下での接着性 (23℃ / -20℃)		アルミニウム板	破壊なし	
		モルタル板	破壊なし	
		ガラス板	破壊なし	
圧縮加熱・引張 冷却後の接着性		アルミニウム板	破壊なし	
		モルタル板	破壊なし	
		ガラス板	破壊なし	
水浸せき後の 定伸長下での接着性		アルミニウム板	破壊なし	
		モルタル板	破壊なし	
		ガラス板	破壊なし	
高温状態及び湿潤状態での ガラス越しの人工光暴露後の 接着性		ガラス板	破壊なし	
体積損失 (%)		5		
耐久性		10030 適合		

※試験結果は代表値を記載しています。

引張接着性

JIS A 1439 : 2022

被着体	処理条件	試験温度	M ₅₀ (N/mm ²)	T _{max} (N/mm ²)	E _{max} (%)
アルミニウム板	養生後	23℃	0.07	0.32	519
	加熱後	23℃	0.09	0.45	475
	水浸せき後	23℃	0.09	0.31	436
モルタル板	養生後	23℃	0.07	0.38	465
	加熱後	23℃	0.11	0.54	431
	水浸せき後	23℃	0.08	0.30	406
ガラス板	養生後	23℃	0.08	0.30	524
	加熱後	23℃	0.09	0.43	489
	水浸せき後	23℃	0.09	0.29	449
	促進暴露後	23℃	0.15	0.43	253

※試験結果は代表値を記載しています。

促進耐候性

品名	初期	促進暴露 3000hr (実年数換算 10年相当)	促進暴露 6000hr (実年数換算 20年相当)
ペンギンシール SA7500 (SA-2)			
2成分形変成シリコーン系 (汎用タイプ)			

※促進暴露試験方法: JISA1415 規定のサンシャインウェザーメーター(5mm厚)

硬化特性

可使時間、指触乾燥時間の目安は、つぎの通りです。

施工温度	可使時間	指触乾燥時間
5℃	5 時間	24 時間以内
23℃	4 時間	24 時間以内
35℃	3 時間	24 時間以内

プライマーの選定

被着体	品名
ガラス・金属・金属塗装面	SA-1、SS-2
金属・金属塗装面・コンクリート・モルタル・タイル	UM-2
2成分形シリコーン系シーリング材・2成分形ポリイソプレン系シーリング材との打継ぎ面(注)	SA-1、RS-2

(注) 事前に接着性を確認し採用の可否を判断してください。

※若齢硬化時に接着界面が硬化遅延を起こすためワーキングジョイントには「プライマー US-5、BC-3、UM-3」は使用しないでください。

●プライマー SA-1、UM-2、SS-2、RS-2 の接着可能時間

温度	時間
5 ~ 20℃	30分 (UM-2)、60分 (SA-1、SS-2、RS-2) ~ 8時間
20℃ ~	20分 (UM-2)、30分 (SA-1、SS-2、RS-2) ~ 8時間

●プライマー SA-1、UM-2 使用量の目安

被着体	施工 m 数 (1 缶あたり)
非孔質材料	130 (SA-1)、180 (UM-2)
多孔質材料	90 (UM-2)

※ SA-1、250g/缶 UM-2、500ml/缶

※目地幅 10mm × 目地深さ 10mm、施工ロス 30% で算出しています。

●プライマーの選定ならびに使用上の注意

- プライマー SA-1 または、UM-2、SS-2、RS-2 を必ずご使用ください。
- プライマーの塗布は、目地の清掃を十分に行い、被着体の表面が乾燥している状態で行ってください。
- 他のプライマーを使用したハケは使用しないでください。
- プライマーは、多孔質面には厚く、非孔質面には薄く均一に塗布してください。
- プライマー塗布後、8 時間以上経過したときは、再塗布してください。
- プライマーの塗布は、接着面以外に付着させないように注意してください。接着面以外に付着した場合は、ただちに溶剤に浸した布で拭きとってください。
- 開封したプライマーはその日のうちに使いきるようにしてください。使いきれない場合は、必要量を別の容器に取り出して使用してください。
- プライマーは、空気中の水分に敏感ですから、使用後は直ちにフタをしてください。
- プライマー SA-1、UM-2 の有効期間は製造後 6 ヶ月、プライマー SS-2、RS-2 は 12 ヶ月です。(冷暗所 (25℃以下) 貯蔵、未開封)

目地設計上の注意

ペンギンシール SA7500 の優れた防水性を 100% 発揮させるには、ジョイントシール後の動きに対して、できる限りシーリング材の疲労が少ないような目地寸法にすることが必要です。必要目地幅は、シーリング材の許容ひずみ・部材の線膨張係数・温度範囲などを考慮して設定します。

●シーリング材の許容伸縮率

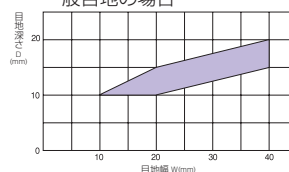
品名	伸縮		せん断		耐久性区分 JIS A 5758 : 2022
	M1	M2	M1	M2	
ペンギンシール SA7500	20%	30%	30%	60%	10030

M1…温度によるムーブメントを考慮した場合。

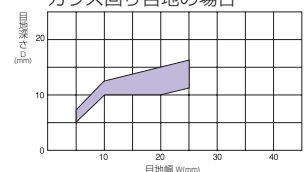
M2…風、地震、振動によるムーブメントを考慮した場合。

●目地幅と目地深さの許容範囲

一般目地の場合



ガラス回り目地の場合



ペンギンシール SA7500 の留意点

- プライマーを塗布しないと接着しませんので、必ず専用のプライマーを使用し、塗りむら、塗り残しのないようにしっかり確実に塗布してください。ガラス目地シーリングのサッシ側など目視しにくいところは、特に注意してください。
- シーリング材の厚みが 0.5 mm 以下の場合、薄層未硬化現象を起こすことがあります。薄層にならない様アール仕上げは避けて直線的に仕上げてください。
- 複層ガラス、合わせガラス小口面の施工にあたっては、事前に弊社までお問い合わせください。
- アクリル艶消し電着、フッ素樹脂塗装のような難接着の被着体や 2 成分形ポリイソブチレン系シーリング材の改修面および各種ゴム・ガスケット類については、事前に接着性を確認し採用可否を判断してください。
- シリコンをコーティングしたテープ類は、ボンドブレイカーとして使用しないでください。必ずポリエチレンテープを使用してください。
- 内装面に使用する場合、表面に粘着性が残ることがあります。
- 塗料など吹き付けは、施工後 48 時間以上 (20℃) 経過し、シーリング材表面が硬化している事を確認後、実施してください。
- 水性シーラーや水性塗料をシーリング材上に塗布すると、はじくことがあります。また、水性塗料は経時により汚染 (表面タック、変色) を生じることがありますので、ご使用になる場合は事前にシーリング材との適合性を塗料メーカー、または弊社にご確認ください。
- 合成樹脂調合ペイント、フタル酸樹脂エナメルおよび 1 液弱溶剤型樹脂塗料など酸化重合型塗料は、乾燥しませんので塗布しないでください。
- 若齢硬化時に接着界面が硬化遅延を起こすため、ワーキングジョイントには「プライマー US-5、BC-3、UM-3」は絶対に使用しないでください。
- ペンギンシール SA7500 の有効期間 (未開封) は 6 ヶ月です。

施工上の注意

- 降雨・降雪時など下地が濡れているときは施工をしないでください。
- 湿潤状態 (例えば、含有水分の高いコンクリート・モルタル・ALC など) の目地には、施工しないでください。硬化不良、接着不良、膨れなど不具合の原因となります。乾燥を十分に確認した上で、施工してください。
- 水分が混入しないよう注意してください。
- 施工面の清掃溶剤には、被着面を侵さない清掃洗浄剤を選定してください。
- セットになっている基剤と硬化剤、及び専用トナーを組み合わせ使用し、開封後は全部使いきるようにしてください。
- 硬化不良や表層のあばた現象を防止するためにも、気泡の巻き込みが少なく安定した混合ができる缶回転式混合機を必ず使用してください。その際、混合機の羽根 (パドル) は必ず 4L パドルをご使用ください。
- 混合は缶回転式混合機で均一に混合されるまで十分に行ってください (15 分間)。その際、混合比を必ず守ってください。混合の途中で羽根 (パドル) の揺さ落としを実施してください。

取扱上の注意

- 本品は一般工業用途向けに開発・製造されたものです。本来の用途以外に使用しないでください。
- 直射日光や雨露のあたる場所を避け、湿気の少ない風通しの良い、冷暗所 (25℃以下) に保管してください。

- 取扱中は、保護手袋・保護眼鏡を必ず着用してください。
- 取扱中は、換気に十分注意してください。
- 使用後の空容器は産業廃棄物として、許可を受けた専門業者に処理を委託してください。

こんなことが起こったら

- 皮膚についたとき・・・布切れなどで拭き取ってから、大量の水と石鹸でよく洗ってください。かゆみや炎症が発症した場合、速やかに医師の診断を受けてください。
- 目に入ったとき・・・きれいな水で十分に洗い (最低 15 分間)、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- 蒸気を大量に吸い込んだとき・・・空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 飲み込んだとき・・・水で口の中をよくすすぎ、気分が悪いときは医師に連絡してください。
- 衣服についたとき・・・布切れなどで拭き取ってください。完全には取り除けませんので、十分にご注意ください。

その他、保管・応急措置・異常時 (火災時、漏出時)・廃棄等の取扱上の詳細は、安全データシート (SDS) をご参照ください。

シーリング材改修時の注意事項

- 汎用 2 成分形シリコン系シーリング材・2 成分形ポリイソブチレン系シーリング材は、メーカー・経過年数などによりプライマーの選定、及び接着性が異なりますので、施工にあたっては事前に接着性を確認し、採用可否を判断してください。
- 接着しないので脱アルコールタイプの 2 成分形シリコン系や脱オキシム、脱アルコールタイプの 1 成分形シリコン系シーリング材への打継ぎや改修には使用しないでください。

容量・荷姿

- 金属缶仕様 (缶径 217 φ)

品名	容量	入数
ペンギンシール SA7500 (基剤・硬化剤セット)	4L セット	2
SA7500・MS2500・MS2970typeNS・PS169N・PU979 共用トナー	200g	20 コ× 2

カラー

- SA7500・MS2500・MS2970typeNS・PS169N・PU979 共用トナー

ライトグレー、Con グレー、ニューグレー、ダークグレー、ブラック、アンバー、ダークアンバー、ベージュ、ステンカラー、ホワイト

可使時間調整剤

真夏や真冬など、厳しい環境下での作業には可使時間調整剤「硬化促進剤」・「硬化遅延剤」をご使用ください。ご使用は、1 缶 (セット) 当たり 1 袋までとしてください。特に、遅延剤を必要以上にご使用になると、硬化遅延を起こすことがあります。

- 硬化促進剤・・・「ペンギンシール 共用硬化促進剤 SA7500・MS2500・MS2970typeNB・MS2970typeNS」をご使用ください。
- 硬化遅延剤・・・「ペンギンシール 共用硬化遅延剤 SA7500・MS2500・MS2970typeNB・MS2970typeNS・2570type1-NB」をご使用ください。

ご注意

本カタログに記載する情報およびデータは、当社が細心の注意を払って行った実験結果に基づいて作成しましたが、ご使用に際しては、材質・使用条件により性能・特性など相違する場合がありますので、事前に十分ご検討、ご確認の上、ご使用いただきますようお願いいたします。また、当社の都合により記載内容を予告なく変更させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

サンスター技研株式会社

URL: <http://www.sunstar-engineering.com/>

東京営業所 〒105-0014 東京都港区芝 3-8-2 (芝公園ファーストビル 21F) TEL(03)3457-1990
 札幌営業所 〒003-0807 札幌市白石区菊水 7 条 2-7-1 (札幌流通倉庫東ビル 5F) TEL(011)820-2580
 仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区福岡 2-4-22 (仙台東口ビル 7F) TEL(022)792-8192
 名古屋営業所 〒464-0086 名古屋市中区栄 2-4-7 TEL(052)722-6815
 大阪営業所 〒569-0806 高槻市明田町 7-1 TEL(072)669-7240
 中国四国営業所 〒733-0833 広島市西区商工センター 5-15-25 TEL(082)277-8444
 九州営業所 〒812-0025 福岡市博多区店屋町 8-24 (九勤呉服町ビル 3F) TEL(092)281-3581

●取扱店

